

出羽國一の宮

数え年による干支早見表

おおものいみ 鳥海山大物忌神社

ね 子	うし 丑	とら 寅	う 卯	たつ 辰	み 巳	うま 午	ひつじ 未	さる 申	とり 酉	いぬ 戌	い 亥	
115 大正元	114 大正2	113 大正3	112 大正4	111 大正5	110 大正6	109 大正7	108 大正8	107 大正9	106 大正10	105 大正11	104 大正12	大正
103 大正13	102 大正14	101 大正15										
		101 昭和元	上100寿 昭和2	白99寿 昭和3	98 昭和4	97 昭和5	96 昭和6	95 昭和7	94 昭和8	93 昭和9	92 昭和10	昭和
91 昭和11	卒90寿 昭和12	89 昭和13	米88寿 昭和14	87 昭和15	86 昭和16	85 昭和17	84 昭和18	83 昭和19	82 昭和20	81 昭和21	傘80寿 昭和22	和
79 昭和23	78 昭和24	喜77寿 昭和25	76 昭和26	75 昭和27	74 昭和28	73 昭和29	72 昭和30	71 昭和31	古70稀 昭和32	69 昭和33	68 昭和34	
67 昭和35	66 昭和36	65 昭和37	64 昭和38	63 昭和39	62 昭和40	還61曆 昭和41 男大厄	60 昭和42	59 昭和43	58 昭和44	57 昭和45	56 昭和46	
55 昭和47	54 昭和48	53 昭和49	52 昭和50	51 昭和51	50 昭和52	49 昭和53	48 昭和54	47 昭和55	46 昭和56	45 昭和57	44 昭和58	
43 昭和59	42 昭和60 男大厄	41 昭和61	40 昭和62	39 昭和63	38 昭和64							
					38 平成元	37 平成2 女大厄	36 平成3	35 平成4	34 平成5	33 平成6 女大厄	32 平成7	平成
31 平成8	30 平成9	29 平成10	28 平成11	27 平成12	26 平成13	25 平成14 男大厄	24 平成15	23 平成16	22 平成17	21 平成18	20 平成19	・令和
19 平成20 女大厄	18 平成21	17 平成22	16 平成23	15 平成24	14 平成25	13 平成26	12 平成27	11 平成28	10 平成29	9 平成30	8 平成31/令和元	
7 令和2 七五三(女)	6 令和3	5 令和4 七五三(男)	4 令和5	3 令和6 七五三(男女)	2 令和7	1 令和8						

皇紀二六八六年・西曆二〇一六年

令和八年（丙午年）

男＝61才・42才・25才
女＝37才・33才・19才

お宮詣……男児は生後32日目、女児は33日目に氏神様にお参りして健全な成長を祈祷します。

七五三詣……男女共に3歳を髪置、男5歳を袴着、女7歳を帯解の祝いとして氏神様に参詣します。(数え年)

個人祈祷は初穂料5,000円より、会社・団体は10,000円より、20名様以上のご祈祷はお一人様3,000円より申し受けます。(委細面談)

・ 随時、神前祈祷(5,000円)・神前結婚式(50,000円)・
出張祭儀(20,000円以上)申し受けます。

TEL.0234-77-2301

出羽国

鳥海山

大物忌神社

遊佐町吹浦字布倉一 TEL 0234(77)2301



Instagram

縁起

当神社が東北の最高峰である鳥海山上に鎮座されたのは、今を去る一、四五〇有余年前の昔、欽明天皇二十五年と伝えられています。貞觀四年官社に列し、國家の祀典に預り、延喜の制には吹浦口の宮に鎮座の月山神社と共に名神大社に列し、後、出羽国一の宮の撰に預り、明治四年國幣中社となり、戦後、昭和三十年に鳥海山大物忌神社と改称し現在に至っております。鳥海山を神体山とする信仰篤い大社で、平成二十一年に当社の境内地が国の史跡に指定されました。

大祓式

三十日(水) 午後三時

この一年の間に、自分の身についた穢を人形に託し、心身を祓い清める行事で、新しい年を迎えるため、古くから行われてきました。皆様のご参列をお待ちいたします。

◆人形でのお祓い料はおひとり五〇〇円です。

歳旦祭

元旦(木) 午前〇時

年の始めに皆様の一年間の弥栄をお祈りします。ご祈祷の申し込みは、三十日の正午までにお願いします。新年を寿ぎ縁起物の干支の置物をさしあげます。

五日堂大祈祷

五日(月) 午後七時

吹浦口の宮に伝わる歴史と伝統ある開運招福大祈祷の申し込みは、午後五時までにお願いします。祈祷者全員にお守り・交通安全ステッカーを、祈祷終了後には、福引き抽選で記念品を差し上げます。

交通安全お守りは、お車一台五〇〇円で申し受けます。(但、室内安全等と一緒に申し込みの方に限ります。)

◆祈祷料は五、〇〇〇円よりお受け致します。

当日は境内護摩堂にて餅焼きを行います。持参した餅を忌火で焼き家族揃って戴くと一年間無病息災であると伝わります。

古い御神札の焼納

一月十八日(日) 午前九時～正午まで受付

小正月まで飾った門松やべ飾りを焼く行事に合わせて、古い御神札・お守りだけをお焚きあげ致します。

◆初穂料は五〇〇円以上(含、処理費用)でお願いします。当日以外は、一、〇〇〇円以上(含預かり料、処理費用)でお願いします。

人形供養祭

三月八日(日)
午前九時～正午受付
午後一時から供養祭

日本には「人形に魂が宿っている」と信じて、これを大切にする風習があります。感謝の気持ちを込めてお別れするお祭りを斎行します。

◆初穂料はみかん箱一杯で三、〇〇〇円です。
※ガラスケース入りの雛人形・五月人形は、枠・ガラス等をはずして下さい。人形以外の道具は一般ゴミとして処理して下さい。

日中のご祈祷は

9時30分から 15時30分まで

1時間おきに奉仕いたします。
(午後は13時30分から)

※受付はお早めにおいで下さい。郵送でのご祈祷も承ります。

※多少時間が前後する場合もございます。

●当神社のお守りは特別奉製です。
○当神社のお守りは特別奉製です。

○当神社のお守りは特別奉製です。
○当神社のお守りは特別奉製です。

発熱や風邪・咳・体調不良の症状がある方は、ご参拝を控えていただきますようお願いいたします。

混雑が予想される日や時間帯を避け、分散してのご参拝をご検討いただければと思います。

●縁起物は十二月二十五日より授与いたします。

●五日の餅焼きは、管理上午前九時から午後五時の間にお願いいたします。